

2015 年度決算の概要 質疑応答

Q 2016 年度の番組費の見通しを教えてください。

A 2016 年度の番組費は為替の影響等により、2015 年度と比べ若干上回る見込みです。2015 年度の単体の売上高に対する番組費の割合は 37.2%でしたが、2016 年度は 38%前後になる見込みです。

Q 加入件数は 10 期連続純増と順調に推移していますが、ネット配信事業者が増加するなど、外部環境の変化も起こっていると思います。今後も純増のトレンドを継続できる見通しでしょうか？

A 質の高いコンテンツを放送することで、もっと多くのお客様に加入していただけてと考えております。それ以外にも、テレビを持たない世代といわれる方々にもWOWOWを楽しんでいただくため、さまざまな施策に取り組んでまいります。

Q 4K/8Kのコンテンツについて、御社はどのような魅力を感じていますか？

A 当社は 2013 年より、ドラマWなどで 4K 番組の制作に取り組んでまいりました。4K などの新しい技術は、クリエイターの表現の幅が広がるため、コンテンツの楽しみ方やお客様へのサービス向上につながると考えております。

Q 2016 年度の収支計画で、単体は増益となりますが、連結で減益となる理由を教えてください。

A テレマーケティング業務受託を行なっている連結子会社のWOWOWコミュニケーションズにおいて、本社の移転費用が発生することなどにより、減益となる見込みです。なお、本社の移転は当社カスタマーセンターの機能向上や、グループ外の売上拡大を目指すための将来に向けた戦略的な投資です。

Q 4 年前は「UEFA EURO 2012TM サッカー欧州選手権」の放送で、大量の加入が獲得できた一方、翌月以降に多くの解約も発生しました。2016 年度の「UEFA EURO 2016TM サッカー欧州選手権」では、放送終了後の解約のトレンドも 4 年前と同様になると想定していますか？

A 2016 年度も連続ドラマWやテニスなど、質の高いコンテンツをラインナップしておりますので、そのコンテンツをお客様にレコメンドするなどの取り組みにより、解約抑止につなげていきたいと考えております。